

台湾本島北部においてランピースキン病が発生しました

4月15日、台湾本島北部の新北市の肉牛農場において、ランピースキン病の発生が確認されました。

ランピースキン病は、ハエやダニが媒介するウイルスによる牛、水牛の届出伝染病です。

症状としては、食欲不振、発熱のほか、全身、特に頸部、背側、脚部、外陰部などに数個～数百個の結節が観察され、泌乳量の減少や浮腫などが認められます。



～アジア諸国でのランピースキン病の広がり～

- ・令和2年6月の中国福建省において発生
- ・令和2年7月の台湾金門島において発生
- ・それ以降、東アジア、東南アジア地域において感染が拡大
- ・直近では、本年4月のタイにおいて初めて発生



写真出典：台湾行政院農業委員会 2021年4月15日付プレスリリース添付資料

～本病への対応～

アジア地域からの媒介節足動物の飛来によりランピースキン病が国内へ侵入する可能性があることから、下記について御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

- ◆毎日の健康観察を行い、本病を疑う臨床症状を観察した場合には、速やかに家畜保健衛生所へ届け出てください。
- ◆本病を媒介する節足動物（主にハエ、カ、ヌカカ、ダニ）駆除等対策を必要に応じて実施してください。

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345

電話 0463-58-0152 ファクシミリ 0463-58-5679